2025年7月19日(土)-7月21日(月祝)　名古屋市港防災センター 夏イベント

港防災センターキャラクター ソナ・エル

なごやしみなとぼうさい
名古屋市港防災センター

夏イベント

夏だ！ホンキの妖怪まつり！

入場無料

HPはこちら

詳しいイベントの情報や休館日、最新の状況はHPをみてね！

荒天時などにはイベントを中止する場合があります

7/19(土)　事前申込制

企画展「百鬼騒乱～災いと妖怪伝承～」関連イベント

妖怪を探して自然災害に備えよう！

妖怪はどんな時に、どんな場所に現れるのでしょうか？また妖怪はわたしたちに何を伝えようとしているのでしょうか？雨、風、雷、地震などの自然現象がつくりだす風景のなかに、みんなで妖怪を探してみましょう。

時間　①10：30～11：30　②14：00～15：00　**定員**　15組（30名）

対象　小学生～中学生（小学校1～3年生は保護者同伴）

講師　企画展「百鬼騒乱～災いと妖怪伝承～」監修者
高田 知紀さん（兵庫県立人と自然の博物館）

地域と風景について実践的に研究しています。身近な自然を愛して、神社にお参りして、妖怪のことを語り合えば、日常が豊かになると考えています。

申込はこちら
申込期間 ～7/16まで

開催中

企画展
百鬼騒乱
～災いと妖怪伝承～
～8/31まで

7/19(土)　避難所体験ゲーム（ダイレクトロード）

名古屋中学校・高等学校　減災チーム

時間　10：00～15：00（12：00～13：00休止）

7/19(土)～8/31(日)　ようかいをさがせ！

7/19(土)

見て・聞いて・楽しい♪防災ワークショップ
～災害時お水は大事だよ～
ペットボトルで浄水器つくり

あいち防災リーダー会

時間　10：00～15：00（12：00～13：00休止）

定員　AM・PM各30名

7/20(日)

地球のカケラでお絵描きしよう！
土のパステル「Dopas（ドパス）」

国土防災技術株式会社

恐竜時代の土のパステルや全国の地すべり地の粘土をパステルにしているから、色々な土の色を観察することができるよ。

完成した作品は、おみやげとして持ち帰れます！

時間　10：00～15：00（12：00～13：00休止）
※最終受付：AM11：40、PM14：40

7/21(月祝)

見て・聞いて・楽しい♪防災ワークショップ
紙パックホイッスルづくり

あいち防災リーダー会

時間　10：00～15：00（12：00～13：00休止）

定員　AM・PM各50名

7/20(日)

防災紙芝居
「なんかようかい？ぼうさい妖怪!?」

静岡大学教育学部 藤井基貴研究室

静岡市に伝わる妖怪伝承を紙芝居で取り上げます。自然災害に対する備えや知恵を身近に感じてみましょう。

時間　①10：30～　②14：30～
※紙芝居実施中は地震体験と3Dシアターを休止いたします

7/20(日)　21(月祝)

防災啓発ブース

名古屋市防災広報アンバサダー　そなえ・まい

防災自助普及委員会
協力：名古屋工学院専門学校

時間　10：00～15：00（12：00～13：00休止）

7/21(月祝)

0歳からのコンサート

学校法人慶和学園 慶和音楽研究所

音楽大学を卒業した慶和幼稚園の音楽の先生たちによるピアノコンサート♪知っている曲から防災にまつわる曲まで盛りだくさん!お楽しみに☆

時間　①10：30～　②14：00～
※コンサート中は全ての防災体験を休止いたします

なごやしみなとぼうさいせんたー
名古屋市港防災センター

（休館日）月曜日（祝日の場合はその直後の平日が休館）・第3水曜日・年末年始
（開館時間）9:30~16:30　体験は16:00まで　**（電話）**052-651-1100
（住所）名古屋市港区港明1丁目12－20

百鬼騒乱

企画展

～災いと妖怪伝承～

2025. 5月20日(火)～8月31日(日)

会場：名古屋市港防災センター

日本は、地震、風水害、土砂災害や感染症など数多くの災害に見舞われてきました。その記憶や歴史は、各地の妖怪・災害伝承等に残されています。本展示では、物語や災害教訓、科学や未来への技術、人々の祈りや願いなどを紹介します。これからも自然環境を知り、未知の災害の脅威を前に、心のすき間から生じる妖怪たちと共に歩んでいきましょう。

制作：名古屋市港防災センター、兵庫県立人と自然の博物館
監修：名古屋市港防災センター　大場（提髪）玲子、あいち妖怪保存会　島田尚幸、兵庫県立大学自然・環境科学研究所　高田知紀
特別協力：いつきのみや歴史体験館、京都先端科学大学、兵庫県立歴史博物館、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）
協力：国土防災技術（株）、名古屋市防災危機管理局　（五十音順）
※本展示は、全国科学館連携協議会の巡回展示物制作助成（令和5年度）により制作

百鬼騒乱

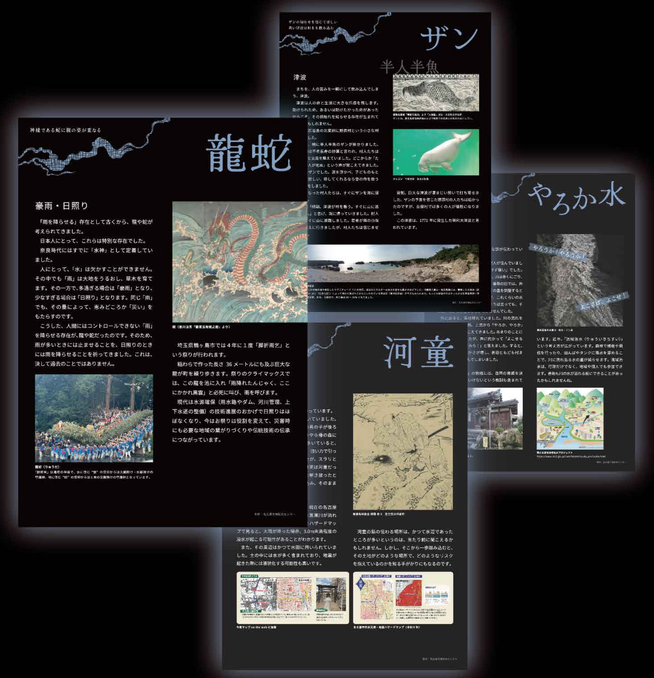
～災いと妖怪伝承～

企画展

日本の災害の記憶や歴史は、各地に伝わる妖怪伝承にも数多く残されています。妖怪たちが伝える予兆<メッセージ>から、今後も起こりうる「災い」に備える術を学んでみませんか。

水の章

豪雨、洪水などの水害、地震による津波あるいは、日照りに関わる存在たちを紹介。
私たちが生きていく上で、なくてはならない「水」。この章では祭礼や物語を紐解きながら、それぞれの土地の抱える水にまつわる災害リスクや教訓を読み解いてみましょう。



地の章

地震、土石流、噴火などに関わる存在たちを紹介。
人々は災害の原因や、地形のでき方をどのように考え、捉えてきたのでしょう。この章では先人による自然の見方から、最新技術を用いた地球の観測まで、様々な見方で世界を捉えてみましょう。

天の章

台風による暴風、落雷、吹雪や雪崩に関わる存在たちを紹介。この章では“自然を左右する力”をもつ存在と信仰、そして、山の禁忌や、落雷によりみられる現象の解釈などを通じ、人と自然の関係性を想像してみましょう。

火の章

火災に関わる存在として、天狗を紹介。この章では、火や風を自在に操る天狗の特殊能力を紹介するだけでなく、関東大震災で甚大な被害を与えた火災旋風についても、映像を交えて学んでみましょう。

病の章

人々に病をもたらす存在として、鬼を紹介。この章では、感染症とともに歩んできた人類の歴史のなかで、忍び寄る不可視な存在を、どのように捉え、対処してきたのか、人の営みを通じて考えてみましょう。

祈りのかたち、願いのかたち

いつの時代も人々の安寧を願う想いは変わりません。
人々が願い、祈る気持ちをどのように形にして表現してきたのでしょうか。

制作：名古屋市港防災センター、兵庫県立人と自然の博物館
監修：名古屋市港防災センター　大場（提髪）玲子、あいち妖怪保存会　島田尚幸、
兵庫県立大学自然・環境科学研究所　高田知紀
特別協力：京都先端科学大学 木場貴俊、兵庫県立歴史博物館 香川雅信、
いつきのみや歴史体験館　榎村寛之、湯本豪一記念日本妖怪博物館
（三次もののけミュージアム）吉川 奈緒子
協力：国土防災技術（株）、名古屋市防災危機管理局